

旧浦島小 校舎を活用 震災語り部や養殖体験

昨春閉校した気仙沼市の旧浦島小学校校舎を活用し、地域の魅力を発信する初の観光ツアーが22、23の両日、浦島地区で行われた。震災の語り部や養殖体験などを組み合わせた内容は観光客からも好評で、企画した住民たちは「今後のまちおこしの弾みになる」と手応えをつかんだ。

浦島地区振興会の尾形光三郎事務局長が、震災翌日に綴った手書きのメモを参加者に見せながら、約1カ月半の避難所生活を綴った校舎裏山まで迫った

尾形事務局長は「住民みんなが身内のよう

コミュニティの大切さを訴えた。東京都杉並区から参加した主婦梅田由紀子さん（51）は「当時、この校舎が避難所だったと思うと感慨深い。住民の皆さんが温かく迎えてくれてうれし」と感想を話した。一行は唐桑町内の民

企画した同振興会の小野寺光一会長は「初の試みだったが、震災後の地域おこしの第一歩になった。郷土料理を学ぶ料理教室などもツアーに取り入れ、内容を充実させていきたい」と話している。

「週末は気仙沼。海のしごとと人に出逢う旅」と題した1泊2日のツアーには、首



住民から震災当時の状況を聞く参加者（旧浦島小）